

NPO おたがいさま会議



新型コロナウイルスの諸課題を出し合い できることから支え合うプラットフォーム@愛知

新型コロナウイルスの影響は、生活困窮者や子ども、高齢者、障がい者、女性、外国人などの社会的弱者をますます追い詰めています。NPO や市民団体は、そうした人たちを支援する存在であるはずですが、コロナ禍で、いまだ思うように活動ができていません。この課題に「おたがいさま」の精神で手を結び、共に前へ踏み出そうと、「NPO おたがいさま会議」を2020年5月に立ち上げました。これまでに愛知県内約60団体の関係者らで意見交換の場を持っています。



9月末までの5カ月間に17回のオンライン会議と、それ以上の数に上るコアメンバー会議を開き、課題を共有。一つ一つの解決策を探り、団体同士のマッチングによる成果が積み上がってきました。しかし、コロナ対応は長丁場です。ぜひ今後もより多くの皆さま方の参加と協力を賜りたく、お願い申し上げます。

裏面に
マッチング
事例紹介など

公式ホームページ <http://otagaisama-aichi.xxxx.jp/> (右下QRコード)

対象

愛知県内のNPO活動に関心のある方なら、誰でも参加できます。(NPO、営利企業、自治会、個人など、所属や分野は問いません)

参加方法

ホームページ内の「参加の方法」から、初回登録フォームにご記入ください。または、裏面の事務局へお問い合わせください。





これまでの主なオンライン会議 原則、毎週火曜 16:00~17:00 団体名・個人名は報告者

- 第1回 (5月19日) こども NPO、セカンドハーベスト名古屋など
- 第2回 (5月26日) ポラみみより情報局、地域福祉サポートちた、日本福祉協議機構など
- 第3回 (6月2日) のわみ相談所
- 第4回 (6月9日) 多文化共生リソースセンター東海、NPO まなびや@KYUBAN
- 第5回 (6月16日) 徳林寺、在東海ベトナム人協会
- 第8回 (7月7日) 令和2年7月豪雨報告／ベーカリーハウスわっぱん&ソーネショップ
- 第9回 (7月14日) 風の会
- 第10回 (7月21日) ささしまサポートセンター
- 第12回 (8月4日) 小幡緑地冒険遊び場の会・つなしょ
- 第13回 (8月18日) 浜松医科大学健康社会医学講座・尾島俊之教授

マッチング事例 1 生活困窮者支援 × 災害支援 × リユースショップ × 就労支援

第3回会議で一宮市の生活困窮者支援「のわみ相談所」が運営に苦しんでいるとの話を受け、名古屋から災害備蓄品の下着類を提供。さらにリユースショップとの

連携や、民間企業による就労支援の可能性も探られました。生活困窮者に対する“支援の支援”は名古屋のささしまサポートセンターを通じても対応しています。



マッチング事例 2 外国人支援 × 企業 × 学生ボランティア



コロナ禍で就労も帰国もできなくなったベトナム人たちが身を寄せていた名古屋市天白区の徳林寺の状況を、多文化共生リソースセンター東海を通じて把握。

企業から市社協に預けられていたペットボトル水を提供したほか、愛知淑徳大学の学生ボランティアによるオンライン日本語教室の開催も実現しました。

マッチング事例 3 重症心身障害者通所施設 × 子ども支援

名古屋市緑区の重症心身障害者通所施設「風の会」の状況を第9回会議で共有。感染症への対応はもちろんのこと、利用者の楽しみがなくなっているとの報告を受け、こども NPO が実施してき

た交流イベント「表現ひろば」を施設向けに開催。利用者がオンラインの画面を通じて子どもたちと交流しながら体を動かすことができ、大変好評！ 2回目の実施も決まりました。



さらに情報や支援をお寄せください！

コーディネーター

石黒好美 (ライター/社会福祉士)、小池達也 (フリーランス)、栗田暢之 (レスキューストックヤード)、関口威人 (ジャーナリスト/なごやメディア研究会)、土井佳彦 (多文化共生リソースセンター東海)、萩原喜之 (三河の山里コミュニティパワー)、濱野剣 (日本福祉協議機構)、根岸恵子 (こども NPO)

=50 音順、2020年9月現在

事務局

認定 NPO 法人レスキューストックヤード、一般社団法人日本福祉協議機構協力
愛知県、名古屋市、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会